

令和5年度 大和市立病院運営審議会 会議録  
(第2回)

日時 令和5年11月13日(月)

午後7時から

場所 大和市立病院 3階 講堂北

- 1 市長あいさつ
- 2 各委員自己紹介
- 3 病院長あいさつ
- 4 病院職員紹介
- 5 会長の選出
- 6 令和4年度決算について(報告)
- 7 経営計画の進捗状況について
- 8 地域医療支援病院に関する報告について

令和5年度 第2回 大和市立病院運営審議会 会議録(要点筆記)

開催日時 令和5年11月13日(月)午後7時~午後8時30分

開催場所 大和市立病院3階 講堂北

出席者 横田会長(医師会) 大橋委員(医師会) 山田委員(市議会)  
相澤委員(利用者の代表) 安川委員(市長の認めた者)

欠席者 木山委員(医師会) 小倉委員(市議会) 南淵委員(学識経験者)

事務局 病院長 事務局長 病院総務課長 総務調整係長 施設用度係長  
医事課長 医事・入院係長 外来係長 診療情報管理センター長 診療情報管理係長  
地域連携科長 地域連携科長補佐 経営戦略室長 経営戦略係長  
ほか事務局3名

議題 令和4年度決算について(報告)  
経営計画の進捗状況について  
地域医療支援病院に関する報告について

#### Ⅰ 令和4年度決算について

(事務局)

「資料1」に基づき説明。

(委員)

占床率は、コロナ病床は含まれていない数値か。

(事務局)

コロナ病床も含めた病院全体の稼働率となる。

(会長)

定義の確認だが、占床率はいわゆる稼働率と理解してよいか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

コロナ病床も含めた占床率という話だが、現在、コロナ病床をどう確保しているのか。

(事務局)

これまでは7階南病棟を専用病棟として使用していたが、5類感染症への移行後は、病棟ごとに個室対応という形で、感染対策を図りながらコロナ病床を確保している。

なお、病床確保料だが、神奈川県で設定しているコロナウイルス感染症の感染レベルがゼロの場合、確保料は発生しないこととなる。レベルが上昇すれば発生するが、以前と比べて減額されており、金額的にはあまり期待できない。さらに、国としては今年度をもってコロナ関係の補助を廃止する意向だと聞いている。

(委員)

給与費について、看護師数の増加に伴い看護師給が増えるのは分かるが、その分、時間外手当は減るのではないか。

(事務局)

令和4年度はコロナ禍であったため、コロナ対応により、対前年度比で2,500万円ほど時間外手当が増えた。また、それ以外の手当に関しても、職員が増えたことにより、期末勤勉手当や夜間看護等手当等が増えた。

(委員)

病院経営改善支援について、どのような支援を受けているのか。また、その支援を受け、病院としてどう改善していくのか。

(事務局)

令和4年度以前は主にデータの分析を委託していたが、令和4年度からは月に2回から3回、コンサルの方が当院に来て、一日かけて職員との面談を行うなど、様々な取組をしているところである。具体的には、取得漏れのある加算の取得に向けて関係各所とヒアリングを行い、その取得を実現したり、また、地域連携科とタグを組み、関係医療機関等への訪問等を行うことで、紹介患者の増加を図り、一方、急性期を脱した患者に係る逆紹介の推進を図っている。これらの取組により、急性期病院としての機能の向上を図っている。

(委員)

地域包括ケア病棟を一般病床に転換する話があったと思うが、いかがか。

(事務局)

令和5年4月から急性期病床に転換を図ることができたため、令和5年度からは急性期病院だけが取得できる総合入院体制加算を取得できるようになり、診療収益の1人当たりの単価を増額させることができた。

(委員)

総合入院体制加算を取得できるようになり、1人当たり何点ぐらい医療点数が上がるのか。

(事務局)

一日1人当たり500円程度。年額で約5,000万円を見込んでいる。

(委員)

総合入院体制加算は1から3まであるのか。

(事務局)

1から3まである。3から1に上がるにつれて、条件が厳しくなる。当院は3を取得している。

(委員)

占床率64.1パーセントとあるが、コロナ病床がある場合、実際のベッドの数を基に占床率を算定しないのか。そうすれば、もう少し占床率は上がるのではないか。

(事務局)

占床率は病院全体の病床数(403床)を基に数値を算出しているが、ご指摘のとおり、コロナ病床のように未使用の病床もあったため、実稼働の占床率でみると77.3%となる。

また、看護師の数によって実際に使える病床数も変化する。例えば夜勤の看護師は7対1の割合による体制だが、当院の看護師全体でその体制を敷いても320床くらいしかかない。それでも、今年度はかなり頑張っており、占床率も85パーセントくらいを推移しているのだが、403床を基に算定するとどうしても低く見られてしまう。

(会長)

病院計画、占床率の目標値は何パーセントか。

(事務局)

今年度から新たな経営計画(2023年度から2027年度まで)が始まり、最終年度に80.0パーセントまで引き上げるような目標を設定している。これは、403床を基に設定している。現在の看護師数では目標到達は難しい状況であるため、看護師数や職員数の整合性も踏まえた上での将来的な目標値としている。

なお、現状では、看護師の職員定数は328名+育児休業者約20名と考えているが、職員の高齢化等により7対1以上に看護師の勤務負担が増えており、さらに、職員の育児休業等も考慮しなければならないため、病院の占床率が上昇したときに対応できるよう、院内で慎重に検討を重ねて、定数の上限をしっかりと見定めていかなければならないと考えている。

## 2 経営計画の進捗状況について

(事務局)

「資料2」に基づき説明。

(委員)

職員満足度調査について、不満足の原因を調査しているのか。

(事務局)

項目を意欲、人間関係、処遇、職場環境、総合評価に分けて調査を実施し、それぞれの項目ごとに自由記述欄を設けているため、当該欄に記載された意見等を抽出し、満足されている点、満足されていない点をそれぞれ分析し、満足されていない点はできる限り改善していく。

(委員)

不満足の原因で主なものは何か。

(事務局)

職種ごとにばらつきがあるが、処遇の部分(勤務時間内に勤務が終了しているか、休憩時間が確保されているか、給与に満足しているか)は若干数値が低かったため、その点が不満足の原因として見受けられる。

(委員)

分べん数の減少は、医師の減少によるものなのか。

(事務局)

医師の減少というよりも全国的に分べん数が減少している。子育て施策の発展や子育て環境の整備を図らなければ減少する一方である。また、大和市は分べん施設が4か所もあるため、当院の他に選択肢がある分、減少してしまう。

(委員)

医療相談件数について、相談の多様化とあるが、どのように多様化しているのか。

(事務局)

通常の医療相談のほかに、令和4年度はコロナ禍であったため、コロナに関する受診や入院の相談など、コロナから派生した様々な相談が増えていった。

(委員)

病院施設の老朽化が進んでいる中で、今後の建替え等の計画をどう考えているのか。

(事務局)

当院は建替工事から30年経過しており、だいぶ老朽化が進んでいる。どの病院(近隣だと小田原市立病院)も40年を建替えの目安としていることが多いため、建替えに係る内部検討や計画の策定など、建て替えるまでに10年くらいの期間が必要であることを踏まえると、建て替えるのか否かを検討しなければならない時期に来ている。しかしながら、建替えとなると、現状の病院と同じものを建てるとしても約200億円の費用がかかるため、赤字の状況をいかに改善していくのが喫緊の課題であり、その後、建替えの議論となる。

当院は急性期病院として、救急の患者を多く受け入れなければならないため、回復期病棟のある医療機関と連携を図りながら退院・転院させている。そのため、当院の平均在院日数は10日と短い。先ほど、占床率の話もあったが、建て替えるのであれば、当院の平均在院日数も考慮して、本当に403床必要なのか等を含め、総合的に今後の病院の在り方を検討していかなければならない。

### 3 地域医療支援病院に関する報告について

(事務局)

「資料3」に基づき説明。

(委員)

救急応需率を上昇させなければならない一方、医師の働き方改革の影響でそれを実現できない可能性もあると思うが、いかがか。

(事務局)

大和市救急医療体制の輪番日となる内科の土曜日及び日曜日(いずれも宿日直勤務)は、救急患者対応で多忙であり、長時間労働等を招く恐れが少なくない。来年の4月からは働き方改革が始まり、現状のままだと労働基準法違反になる可能性も出てくる。一方で、これらの日を宿日直ではなく交代制勤務とすると、医師が足りなくなる懸念もある。当院として、働き方改革後も救急応需率を上昇できるよう検討していくが、今後の救急医療の体制は、市全体で、地域の医療機関を巻き込んで検討していかなければならない。

(委員)

医師の働き方改革に伴って、以前より給料や手当が減る医師に対して保証しなければならず、また、光熱水費や材料費、薬品費は高騰しており、そのほか、最低賃金も大幅に引き上げられるなど、病院の財政は厳しくなる一方である。さらに、今後の診療報酬について、財務省はマイナス改定を示唆している。厳しい状況は変わらないが、より頑張って病院経営に取り組んでほしい。

### 4 その他

(事務局)

次回の開催は、12月19日(火)を予定している。

以上